

## 事前評価個表

整理番号	5
------	---

地域（地区）名	よねしろがわ 米代川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	秋田県	対象市町村	鹿角市ほか14市町村
事業実施期間	H30 ～ H34（5年間）	事業実施主体	秋田県、市町村、森林組合、森林所有者、林業公社

事業の概要・目的	<p>秋田県の中央から北に位置し、西は日本海に面し、北西から北東にかけて世界遺産の白神山地から十和田湖国立公園、そして東に奥羽山脈がある。この区域を東から日本海へ流れている米代川は、天然秋田杉資源を有しており、森林に対する関心が高い地域である。</p> <p>米代川流域の森林面積（民国合計）は、385千haで、県内の森林面積の46%を占めている。民有林の森林面積175千haのうち、人工林面積は112千haで、人工林率64%と県平均の58%を上回っている。</p> <p>森林整備を必要とする人工林Ⅵ～ⅩⅡ齢級の森林が84千haで人工林の75%を占めており、間伐に加え、主伐・再造林を実施することで、森林資源の循環利用を図りつつ、森林形成による国土の保全を図っていく必要がある。</p> <p>また、日本海側防風・防砂保安林のクロマツ林では、松くい虫の被害もあり、地域住民の生活の安全を確保するために、各市町村で森林整備事業計画を策定し、森林整備や路網整備の推進および病虫害被害を防除する必要がある。</p> <p>このため、各市町村の森林整備事業計画や総合発展計画等に森林整備目標を位置づけ、農林水産業の振興を図るとともに、計画的な森林整備の推進による、秋田杉の産地化形成に向けた木材生産、林業労働力や担い手の確保及び高性能林業機械の導入、また効率的な路網整備により、間伐材の利用率を向上させることを目標とする。</p> <p>事業実施にあたり、関係部局と連携を図りながら森林整備を実施する。</p> <p>また、地域に生息する動植物の自然環境にも配慮する。</p> <p>具体的には、本事業による効率的な施業に不可欠な路網の整備と、搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：13,052ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐、森林作業道</p> <p>路網整備：25,422m 林業専用道</p> <p>総事業費：7,208,239千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 7.47 (総便益(B) = 90,978,221千円、総費用(C) = 12,172,864千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する多面的機能の発揮及び県産材の供給拡大の観点から、当該事業は必須である。</p> <p>効率性：施業の集約化や高性能林業機械等の活用により、低コストな木材生産を推進するため、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくりによる国土保全機能の発揮、安定的な木材生産が見込まれることから事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 秋田県

地域(地区)名: <sup>よねしろがわ</sup>米代川

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	39,862,871	
	流域貯水便益	5,188,800	
	水質浄化便益	11,301,354	
山地保全便益	土砂流出防止便益	19,281,479	
環境保全便益	炭素固定便益	9,018,295	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	101,435	
	木材利用増進便益	42,871	
	木材生産確保・増進便益	5,068,706	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	4,670	
	森林整備促進便益	1,107,740	
総 便 益 (B)		90,978,221	
総 費 用 (C)		12,172,864	
費用便益比	$B \div C = \frac{90,978,221}{12,172,864} = 7.47$		



